

令和元年度第1回印西市国際化推進懇談会 会議録

- ・ **開催日時** 令和元年7月5日（金）・午前10時00分～10時55分
- ・ **開催場所** 印西市役所 附属棟2階23・24会議室
- ・ **出席者** 宋戸真委員（会長）、土岐成生委員、清水武彦委員、山岸昌弘委員、張京玲委員、ラビンドラ デイ委員、李旼姝委員
- ・ **欠席者** 山口道博委員、川喜田英博委員、溝口昌樹委員
- ・ **事務局** 小林企画政策課長、富澤課長補佐、櫻井係長、小川主査
- ・ **傍聴者** 2名
- ・ **議題** （1）平成30年度事業報告について
（2）令和元年度実施事業について
- ・ **議事録（要点筆記）**

事務局 【（1）平成30年度事業報告について説明】

【以下、質疑応答】

清水委員 現在の外国人の人数はどのくらいか。

事務局 5月末現在で、2063名です。

清水委員 外国人市民が増加しているが、一番多い国籍はどこか。

事務局 国籍別にみますと、一番多い国は中国の方で819名です。
また、人数の多い国籍をみますと、韓国の方が250名、フィリピンの方が163名、ベトナムの方が260名です。

清水委員 今日の新聞に千葉県のデータがでていますが、トップが中国の方で、次にベトナムの方がはっています。ベトナムの方が増えているが、どのように分析しているのか。

事務局 国籍と人口の構成としては、印西市も県と同じような構成になっていると思います。

議長 大学でも、最近ベトナムからの留学生が増えているという傾向があるようです。

議長 その他、ご意見やご質問がなければ議題（1）につきましては以上といたします。

事務局 【（２）令和元年度実施事業について説明】

【以下、質疑応答】

山岸委員 １ページ目のホームページの運用管理委託ですが、予算と決算を比較すると４００万円弱増加していますが、予算増加の理由は何か。

事務局 今年度、ホームページの特別デザイン、トップページのデザインを含めてホームページのわかりやすさの向上に向けた取り組みを、担当課で進めております。そのホームページの管理の見直しの関係で、予算が例年より２００万円程度多くなっているという状況でございます。

山岸委員 改修費用ということか。

事務局 今年度に改修するので、どこまで進んでいるかは把握しておりませんが、今年度の事業のため、現在は検討している状況だと思います。

山岸委員 決算の２８０万円というのは運用費、それで差額４００万円は改修にかけるからというそういう説明でよいですかね。

事務局 今年度の事業予定の欄の下段にあります２行に追加された内容のとおりでよろしいかと思います。

山岸委員 入管法が改正になりました。その関係で施策面等変わってくるのか。語学研修を政府がこのようにやると規定して、それを自治体が枠組みを作って企業にやらせるようなことを新聞で読んだことがあるのですが、それに関して印西市としては、どのように対応していくのか教えていただけますか。

事務局 先日、市議会でも質問がありましたが、入管法の改正による特定技能者２号の増加については、今のところ印西市は５月末でゼロ人という答弁がありました。今後も増加する外国人市民に対して、施策にどう活かしていくかは、現在、市の国際化推進方針が令和２年度までの方針となっております。本年度は方針の改訂に向け、外国人市民アンケートを実施し、その意見等を踏まえ、国際化推進方針を改訂する考えでおります。

山岸委員 では、来年度以降ということですね。

事務局 外国人市民が、２６年度と比較しますと、１８歳以上だけで８００人くらい増えている状況がありますので、現在お住まいになっている方の思っていることや感じていることをお聞きしながら、方針の中に反映させていただき、進めていきたいと考えております。

山岸委員 政府は３４万人くらい特定技能が増えるといっていますが、印西はゼロなんですか。

事務局 特定技能者２号についてはゼロ人と所管課からの答弁がありました。

山岸委員 今後も、外国人市民は増加すると思いますが。

事務局 今後の人口動態を注視していく必要はあると考えます。

山岸委員 ニーズもあるだろうし、成田にも近いし、増えているのではないですか。

事務局 団体の外国人の姿をよく見ますが、転入してきて、研修を受け、その後短期間で他市等に転出する傾向にあることは把握しています。

山岸委員 居住者ではないということですか。

事務局 市内に研修施設がございまして、その施設で研修を受け、転出される方もおります。但し、人口をカウントする時点で、その方に住民登録があれば人口にカウントされます。

山岸委員 短期間は市民として住民登録しているということですね。

事務局 今後の傾向としても、年々増加傾向にありますので、また、研修施設があり、一時的に住民登録している研修生がいるのが、市の特徴とも考えています。

山岸委員 研修施設は民間のものですか。

事務局 確認はしておりませんが、民間の施設かと思います。

議 長 その他、ご意見やご質問がなければ議題（２）につきましては以上といたします。

議 長 議事については全て終わりましたが、その他事務局からあればお願いします。

事務局 【３点について報告】
外国人市民意識調査について
本日の委員報償について
住みよさランキングについて

事務局 本日の議題のほかに、市に対しての感想・意見等があればお聞かせください。

張委員 国際化があまり進んでいないと思う。とくに、外国からの子供たちの日本語教育がまだまだ。授業も日本語なので、ついていくことができない。教えることもあまりできない。日本語を覚えてくても覚えられない。それに対しての支援をしていただきたい。

ラビンドラ委員 ２つある。
１つめ、外国人はごみの出し方を間違えている人が多い。間違えることで、外国人のイメージが悪くなる。ごみの出し方のリーフレットだけでは足りないので、ごみの出し方について何度かの指導が必要と思う。
２つめ、大人でも、日本語がわからない、覚えられない、日本人と話すチャンスが全くない人が多く、日本語を習いたいと思っている。

李委員 以前よりも外国人市民への説明などがわかりやすくなり、国際化に力を入れているなど感じる。しかし、日本に住んでいるのに、日本人と触れ合う機会が少ない。料理教室な

ど、ふれあいの場が多くなり、そういう機会の情報がもっとあるとよい。母国語で話すと、人の視線が強く感じる。誘われて韓国語を習うサークルに行ってみたが、発音があまり正しくないと感じた。日本人との共有の場がもっとあるとよいと思う。

土岐委員

来年から小学校英語も変わります。5・6年生では英語の授業が年間70時間。今、来年使用する教科書が審議されているところ。授業ではデジタル教材で音声は聞けるが、フェイス to フェイスで話せる場がALTとの会話に限られてしまっている。外国人市民の方が多くお住まいなので、学校で外国人市民の方との交流活動ができるよう橋渡しをうまくしていただき、子どもたちが夢をもてるような、習ったことを実践に活かせるような取り組みができればと思う。

成田山門前でチラシを配り、ボランティアで学校へ来てくれる人を募ったことがあるが、かなり負担であったので、市で学校と外国人市民との交流の場をつくる手助けをしていただけるとありがたい。

清水委員

ボランティア育成講座等を市でやっていただきたい。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。今後の参考にさせていただきたいと思います。以上をもちまして、第1回印西市国際化推進懇談会を終了いたします。お疲れ様でした。

令和元年7月5日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和元年 7月29日

会議録署名委員 土 岐 成 生